



# 福岡市スクールソーシャルワーカーの配置状況



令和5年度は、全ての中学校区及び高等学校、特別支援学校、夜間中学へSSWを配置するとともに、学校数が多く、かつ児童生徒数の多い中学校区にSSWを増員し、さらなる教育相談体制の強化を図ります。

## 教育・心理・福祉の専門スタッフによる連携した支援

### 福祉

#### スクールソーシャルワーカー

社会福祉士・精神保健福祉士

福祉の面の支援、関係機関との連携を充実

- ・全中学校ブロック・高等学校・特別支援学校 配置

【令和4年度】

**拡充**

- ・夜間中学 → 新規配置
- ・中学校ブロック → 学校数等に応じて増員



R3年度  
71名

➔ **79名**



支援が必要な子どもや家庭に  
寄り添いながらサポート！

医療・福祉機関  
警察・司法機関  
等とも連携

いじめ・・・ 不登校・・・ 貧困・・・  
虐待・・・ ヤングケアラー・・・

### 心理

#### スクールカウンセラー

公認心理師・臨床心理士

カウンセリングを通して心をケア

全学校 週2日 配置 **110名**

※小呂・玄界小中学校は週1日配置



### 教育

#### 教育相談コーディネーター

不登校対応の教員

教育相談の中心的な役割

全中学校ブロック配置 **69名**



#### こどもSNS相談

子ども達が気軽に相談できるよう、  
SNSを活用した教育相談を実施



#### 全員面談の実施

心のケアのため、全児童生徒  
と教師の1対1の面談を実施

School Social Worker

# スクール ソーシャル ワーカーに 相談してみませんか？



## 福岡市スクールソーシャルワーカーの基本姿勢

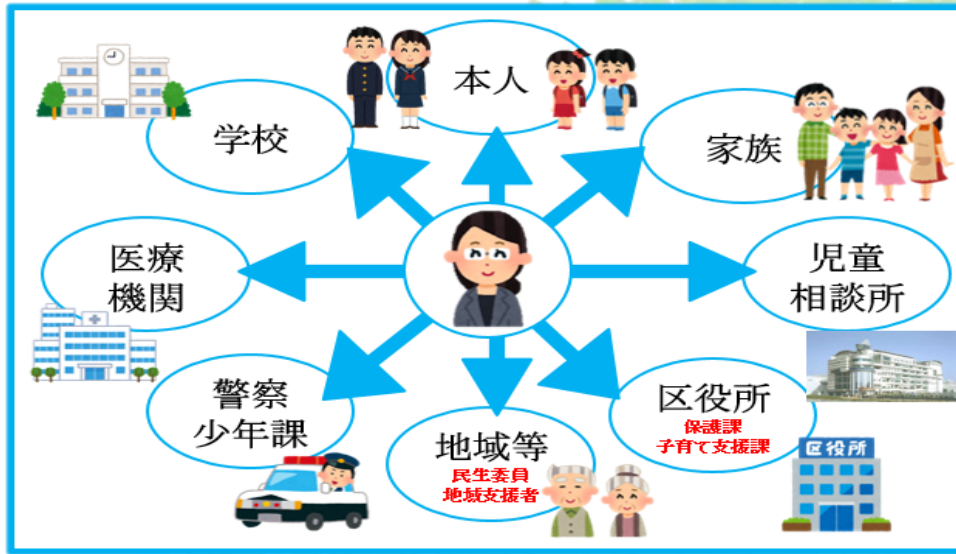
受信  
発信  
ちょい前進

すべての子どもを受け入れます  
思いと状況を伝えます  
子どものペースでちょっとずつ

福岡市教育委員会

## ★スクールソーシャルワーカー（SSW）とは

スクールソーシャルワーカーは、福祉の専門職（社会福祉士または精神保健福祉士）です。子どもたちの生活背景にある様々な状況に対して、福祉的視点を活かし、本来子どもたちが持っている力を発揮できるよう支援活動を行います。



## ★スクールソーシャルワーカーはこんな支援をします。

- 子どもたちを取り巻く状況の整理  
→ 予防的段階でフットワーク軽く動きます！
- 子どもたちの思いを代弁  
→ 家庭訪問や面談を通して、子どもたちの思いをききます！
- 福祉サービス等の情報提供及び関係機関の紹介  
→ 福祉分野や多分野の領域に関する情報をご紹介します！
- 学校内における協働支援の提案  
→ 福祉の視点からご提案をします！
- 学校と、家庭や関係機関、地域との協働支援のコーディネート  
→ 必要に応じてケース会議の開催、協働関係の構築やつなぎを行います！
- 研修活動  
→ スクールソーシャルワーカーの視点を活かした研修を行います！（関係機関との協働、不登校未然防止等）

## ★どのような成果がみられるの？

### 連携調整

生徒の状況を整理し、関係機関と連携するための調整を図って、効果的に支援ができました。

### 地域の教育力向上

ケース会議を定期的に行うことにより、子どもの見守りや家庭への支援を具体的に話し合い、学校と地域が情報を共有し、地域ぐるみで見守る体制が強化されました。

### 家庭支援

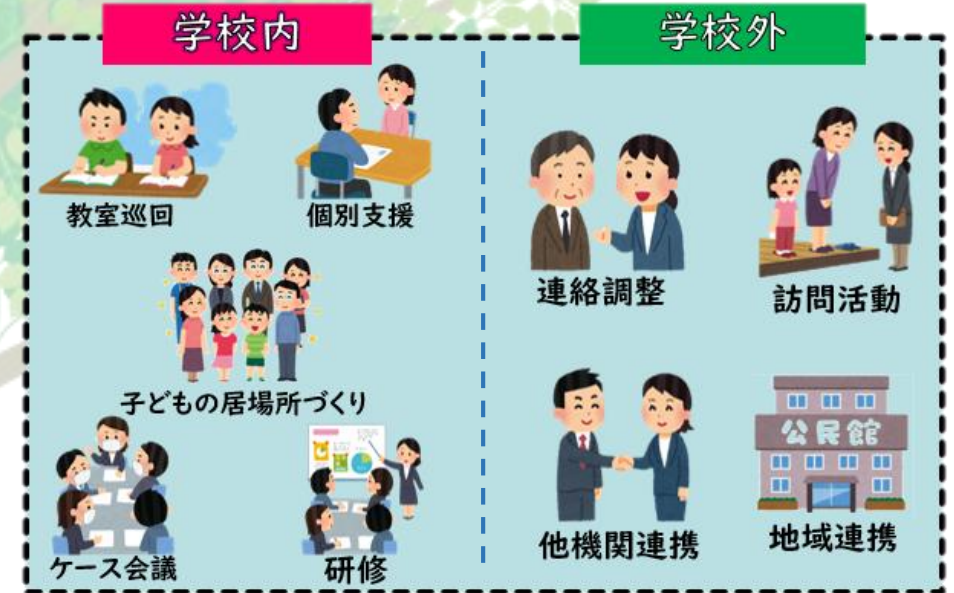
家庭支援を行い、家庭生活に改善がみられるようになり、子どもに落ち着きがみられるようになりました。

### 教職員の意識と指導力の向上

スクールソーシャルワーカーから状況の整理の仕方を学び、教職員の意識と指導力向上につながっています。

### 支援体制強化

スクールカウンセラーと役割分担をし、一緒に支援をしていく体制がとれました。



相談件数	
・令和元年度	4,247件
・令和2年度	4,730件
・令和3年度	4,066件

お気軽にお声  
掛けください。

